学校だより

あたらしさ　あたたかさ　たくましさ

われらの金池

令和８年１０月２８日
第　７号
大分市立金池小学校
文責：校長　安藤 稔

11.7 秋季大運動会　～たくさんのご声援を～



いよいよ秋季大運動会の日が近づいてきました。子どもたちは、この10月、学年部を中心に表現や短距離走の練習に頑張ってきました。20日の結団式を経て、全校練習も23日から始まりました。ほぼ運動会一色の学校生活ですが、そのような慌ただしい中でも、「当たり前のことを当たり前に取り組む」子どもの姿を目にするとうれしくなります。

〈子どもの姿〉　・あいさつをする。　・提出物がそろう。　・授業準備ができる。
・移動中や掃除中は無言である。　・掃除が考えてできる。　・反応する。
・授業中はしっかり考え、考えを伝え、考えを高めようと努力する。

運動会練習から運動会本番を通して、様々な学びがあります。その学びが、運動会本番の時だけというのは、なんともももったいないものです。身につけた学びが、どのように運動会後の学校生活で生かされているのか、そこをしっかりと見ていきます。

最後に、運動会開催にあたり子どもたちが演技に集中できるように、また安全に移動できるように様々な面での観戦ルールを設けております。発出される運動会関係の文書にはよく目を通していただき、子どもも保護者も地域の方もみんなが幸せになる運動会が開催できたらと願います。どうぞ、ご協力をお願いします。

【10.14 小中一貫教育公開研究発表会】

10月14日、上野ヶ丘中学校区の小中一貫教育公開研究発表会を行いました。市内から100名程度の教職員が参加しました。まずは、小学校の授業で金池小３年１組の算数、６年４組の道徳、長浜小５年生の道徳を見ていただき、その後上野ヶ丘中学校へ移動して、１年生の数学、２年生の道徳の授業を見ていただきました。

本校区の取組の柱は、「主体的に考え行動し、互いに高め合う児童生徒の育成」を目指し、授業においては、「自ら考えを持つことができる課題設定」、「話し合いの場の工夫により自己の考えを広げ深める」ことです。

金池小の２学級では、よく考え、意見を述べ交流することでさらに考えを高める姿を見ることができました。参観された教職員や大分市教委の関係者からも多くの称賛の言葉をいただきました。

私は、中学校１年生の数学の授業をした先生の事後研究会での言葉が残りました。

「この学年の生徒は、話し合い活動がよくできます。」…　昨年度の６年生での姿同様、互いに学びあう姿が中学校でも引き継がれていることがとてもうれしく、自慢にも思いました。

【通学路の安全のために】

毎朝、子どもたちの安全を守るために、保護者の方が、交代で旗当番に立っていただいております。この旗当番を行うには、仕事や家庭での用事等を調整し、時間を作って活動していただいております。

また、交通指導に立っていただく順番を決めたり、旗の受け渡しを調整したりする役の方もいることで成り立っている活動でもあります。

子どもたちには、感謝の気持ちをもって横断するとともに、あいさつでその思いを伝えてもらいたいです。そして、このような交通指導は、当たり前にしてもらっていることでなく、保護者の「事故なく安全に登校してほしい」という願いのもとで行われていることを知り、自ら安全に留意する姿勢を示してほしいと思います。

